

平成 20 年度

事業計画書

平成 20 年 3 月

財団法人 徳川黎明会
総務部
徳川美術館
徳川林政史研究所

総務部

1. 事業事項

- [I] 研究
(課題) (担当) (開始)
- (1) 尾張徳川家の婚姻について 専務理事・総務部長 学芸員 近松真知子 昭和62年
 - (2) 尾張徳川家系図の調査研究 同 上 " 63年
 - (3) 近世初期漢画の研究 非常勤学芸員 林 里絵 平成12年
 - (4) 江戸時代の国学興隆が絵画製作に及ぼした影響について 同 上 鎌田純子 " 19年
 - (5) 川面版 源氏物語絵巻の研究 林 里絵・鎌田純子 " 19年
- [II] 編纂・刊行
- (1) 「金鯰叢書」(第36輯) 近松真知子・林 里絵
- [III] 財団法人徳川黎明会徳川美術館拡充整備基金の会 会員募集の推進
「特定公益増進法人」として平成19年2月9日通算第9回目の認定を受けた。
総務部と徳川美術館で密接に連携し、目標額の達成のためあらゆる努力を払う。
会長 徳川義崇
- [IV] 美術館業務応援
- (1) 広報活動支援 近松真知子
- [V] 部外協力
- (1) TV出演・講演 申し込みを審査し、可能な限り協力する。
- [VI] 写真資料の整理・貸出
- (1) 徳川美術館分 宮 裕美
 - (2) 徳川林政史研究所分 庶務担当課長 神田映子
- [VII] 所蔵図書 of 整理 鶴岡香織
- (1) 新着図書・寄贈図書の分類・整理・データ入力を行う。
 - (2) 新着雑誌・寄贈雑誌の整理・データ入力・製本を行う。
 - (3) 旧受入図書の未整理分を整理し、それに伴う書架移動を進める。
 - (4) 除籍対象図書を選定し、除籍を行う。
 - (5) 除籍対象雑誌を選定し、除籍を行う。
 - (6) 図書データベースのネットワーク化に向けて美術館・林政史研究所と連携して作業する。
- [VIII] 住宅賃貸
- (1) 収益事業として外国人向け住宅6棟を賃貸する。

2. 庶務事項

- [Ⅰ] 当会諸規程の整備
前年度に引続き諸規程の見直しを行う。 近松真知子・各部協力
- [Ⅱ] コンピューターシステム化の促進及び見直し 徳川義崇・各部協力
- [Ⅲ] 財団史史料の整理 徳川義崇
- [Ⅳ] 明治初期華族写真資料の整理 徳川義崇
- [Ⅴ] 財団会計業務手順の見直し
新公益法人会計基準に対応するための課題を検討する。
会計・経理担当課長 田中博之・各部協力
- [Ⅵ] 収支決算監査 平成20年5月
- [Ⅶ] 理事会・評議員会開催
(1) 平成19年度収支決算審議のため理事会・評議員会開催 平成20年5月
(2) 平成20年度収支更正予算および平成21年度収支予算審議のため理事会・評議員会開催 // 21年3月
- [Ⅷ] 徳川園協議会への参加
名古屋市蓬左文庫及び徳川園の運営について引続き関係諸機関と協議する。
- [Ⅸ] 主務官庁事項
(1) 平成20年度科学研究費補助金（特定奨励費）交付請求書提出 平成20年4月
(2) 平成19年度事業報告書ならびに収支決算書提出 // 6月
(3) 「特定公益増進法人」更新のため申請書類提出（通算10回目） 平成21年2月

徳川美術館

1. 事業事項

[I] 研究	(担当)	(開始)
(1) 館蔵品悉皆調査	学芸部共同	昭和63年
(2) 尾張徳川家関係寺社蔵品調査	同上	〃 58年
(3) 尾張徳川家御道具帳のデータベース化	同上	平成 7年
(4) 尾張徳川家に関連する建中寺所蔵什宝の調査	同上	平成20年
(5) 徳川美術館蔵仏画の調査研究	名誉副館長 学芸員 山本泰一	昭和49年
(6) 請来仏画の研究	同上	〃 56年
(7) 阿弥派の研究	同上	平成 7年
(8) 『君台観左右帳記』の研究	専門参与 学芸担当 佐藤豊三	昭和58年
(9) 茶の湯の名物道具について(名物論) -『玩貨名物記』を中心に-	同上	〃 63年
(10) 尾張徳川家江戸屋敷における文化活動	同上	平成 3年
(11) 徳川義直の文化活動	同上	〃 11年
(12) 近世名古屋城下における文芸活動 -尾張藩士を中心に-	企画情報部部长 小池富雄	昭和57年
(13) 幸阿弥派の蒔絵の研究	同上	平成元年
(14) 唐物漆器の研究	同上	〃 10年
(15) 古代・中世の料紙装飾の系譜	副館長・学芸部長 四辻秀紀	昭和60年
(16) 歌絵・物語絵の研究	同上	平成 3年
(17) 近世絵画の研究	学芸員 吉川美穂	〃 6年
(18) 尾張における画家の活動について -田中訥言を中心に-	同上	〃 11年
(19) 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について	学芸員 並木昌史	平成 8年
(20) 近世有職織物の調査研究	同上	〃 10年
(21) 中近世の絵画および工芸意匠の研究	学芸員 龍澤 彩	〃 13年
(22) 尾張徳川家伝来中国絵画の研究	学芸員 志賀太郎	〃 17年
(23) 禅宗絵画の研究	同上	〃 19年
(24) 徳川将軍家と尾張徳川家の研究	学芸員 原 史彦	〃 20年
(25) 国宝 初音の調度の総合的研究 (文部科学省科学研究費補助金)	小池富雄 (代表)	〃 19年

[II] 文化財保存

- (1) 修理
 - 重要文化財 扇地紙文辻ヶ花染小袖・紅葉文辻ヶ花染小袖
 - 「直鋒」纏 松平忠吉所用
 - 薄紅地蓬萊葵紋付産衣 徳川綱誠着用
 - 茶白鼠細格子産衣 徳川綱誠着用
 - 扇散蒔絵鼓箱 (荇田蒔絵小鼓収納箱)
 - 楽器図衝立
- (2) 復元 徳川家康着用 浴衣 三領(継続)
- (3) 収蔵庫内棚作成
- (4) 「国宝 源氏物語絵巻」詞書料紙の科学的調査に基づく復元模写事業の推進

〔Ⅲ〕 教育・普及

- | | | | |
|--|----------------------------------|--|-----------------------------------|
| (1) 定期研究発表会 | (月 日) | (内 容) | (講 師) |
| ① 第53回 | 6月14日 | 無住子筆「朝陽対月図」について | 志賀太郎 |
| ② 第54回 | 平成21年2月14日 | 尾張家十四代慶勝が購入した浮世絵 | 吉川美穂 |
| (2) 記念講演会 | (月 日) | | (講 師) |
| | 4月12日(土) | 江戸絵画の素晴らしさ | 秋田県立近代美術館館長 河野元昭氏 |
| | 5月24日(土) | 一文字の世界 | 佐野美術館館長 渡辺妙子氏 |
| | 10月4日(土) | シンポジウム 室町将軍家の「眼」を問い直す(仮)
多摩美術大学教授 島尾新氏、東京大学東洋文化研究所助教授 板倉聖哲氏ほか | |
| (3) 土曜講座 「よくわかる大名のくらしぶり」 | (年 月 日) | (内 容) | (講 師) |
| | 4月19日 | 尾張徳川家と江戸絵画 | 吉川美穂 |
| | 5月31日 | 尾張の武道 尾張柳生を中心に | 小池富雄 |
| | 6月14日 | 備前一文字と菊一文字 | 佐藤豊三 |
| | 7月12日 | 松平・徳川氏の系譜と軍記 | 原 史彦 |
| | 9月13日 | 尾張徳川家の仏教遺品 | 山本泰一 |
| | 10月11日 | 東山御物と「水墨画」 | 志賀太郎 |
| | 11月22日 | 尾張徳川家伝来の楽器 | 並木昌史 |
| 平成21年 | | | |
| | 1月10日 | 美術工芸品に見る吉祥のデザイン | 龍澤 彩 |
| | 2月21日 | 利休の死をめぐる | 大日本茶道学会副会長 田中仙堂 |
| | 3月14日 | ひなまつりさまざま | 四辻秀紀 |
| (4) 夏期講座 「室町将軍家の至宝」 | (月 日) | (内 容) | (講 師) |
| | 8月19日(火)・20日(水) | 講 義 | 山本泰一ほか |
| | 21日(木) | 見学会 | |
| (5) 能楽講座「尾張徳川家の能」 | | | |
| | テーマ：「安達原」「黒塚」～陸奥の安達が原の黒塚に鬼、籠もれり～ | | |
| | 4月5日(土) | 流儀が違ふと名前まで違ふの？ | 能楽シテ方観世流 観世喜正氏
能楽シテ方宝生流 辰巳満次郎氏 |
| | 5月10日(土) | こんなに面白い間狂言でいいの？ | 狂言方泉流 井上靖浩氏 |
| | 6月7日(土) | 鬼女登場 こんなお囃子です | 能楽笛方藤田流 藤田六郎兵衛氏 |
| | 7月6日(日) | 糸唄をうたう鬼女 | 歌人 馬場あき子氏 |
| (6) 徳川林政史研究所 古文書入門講座「江戸時代の古文書を読むー天保の改革ー」 | | | |
| | 6月21日(土) | 老中水野忠邦と名町奉行遠山金四郎 | 林政史研究所 所長 竹内 誠 |
| | 6月28日(土) | 天保の日光社参 | 副所長 深井雅海 |
| | 7月5日(土) | 諸国巡見使と領民(一) | 研究員 白根孝胤 |
| | 7月12日(土) | 〃 (二) | 〃 〃 |
| | 7月19日(土) | 天保の人返し政策(一) | 主任研究員 太田尚宏 |
| | 7月26日(土) | 〃 (二) | 〃 〃 |

- (7) 古美術相談会
原則として毎月第一土曜日午後に行う。
- (8) 名曲講座「名曲へのいざない」 4回程度開催予定
- (9) 特別企画

(年 月 日)	(内 容)
5月 5日	端午の節供特別企画 親と子の甲冑教室
6月 8日	特別展企画 美濃関の刀鍛冶による日本刀鍛錬実演
6月15日	特別展企画 尾張柳生剣術 実演
8月 1日～31日	夏休み子供特別企画 (ギャラリー・クイズ、歴史教室ほか)

平成21年
2月28日 雛まつり特別企画 十二単着付教室
- (10) 会員のための見学会
 国内 春・秋の特別展をみる
 海外 史跡・展覧会をみる
- (11) 学芸員実習 7月30日～8月7日
- (12) 出講
- | | | |
|------------|------|------|
| ① 名古屋造形芸術大 | 通年 | 山本泰一 |
| ② 東海学園大学 | 集中 | 〃 |
| ③ 名古屋芸術大学 | 通年 | 佐藤豊三 |
| ④ 愛知県立芸術大学 | 集中 | 〃 |
| ⑤ 名古屋外国語大学 | 前期 | 小池富雄 |
| ⑥ 南山大学 | 後期 | 〃 |
| ⑦ 南山大学 | 前期 | 四辻秀紀 |
| ⑧ 愛知淑徳大学 | 後期 | 〃 |
| ⑨ 名古屋芸術大学 | 後期集中 | 吉川美穂 |
| ⑩ 椋山女学園大学 | 集中 | 〃 |
| ⑪ 愛知県立大学 | 後期 | 龍澤 彩 |
| ⑫ 中日文化センター | 前期 | 学芸員 |
- (13) 雑誌・報道広報資料作成 (ポスター・ちらし・ニュースレター)
- (14) ホームページの随時更新およびリニューアル
- (15) 土曜子ども教室の開催・小中生向け普及教育活動・館外出講講座(アウトリーチ)
- (16) 中学・高校・大学 職場体験の受け入れ(インターンシップ)
- (17) 東邦コミュニティカレッジ 共催講座
6月15日・29日 「畑儀文さんをむかえて」

[IV] 展 覧 会

- (1) 常設展示 (第1室～第6室)
大名の生活と文化 約一ヶ月毎に展示替

(2) 企画展示 (第7室～第9室)

	(会期)	(展覧会名称)	(担当)
	4月12日～5月18日	春季特別展 桃山・江戸絵画の美 中日新聞社共催	吉川
	5月24日～7月6日	特別展 備前刀の華 一文字 日本経済新聞社共催	並木・佐藤
	7月12日～8月31日	夏休み歴史教室 徳川家康と戦国のたたかい 朝日新聞社共催	原
	9月6日～9月28日	企画展示 神仏に祈る 尾張徳川家伝来の仏教美術 日本経済新聞社共催	山本
	10月4日～11月9日	秋季特別展 室町将軍家の至宝を探る 中日新聞社共催	山本・小池・志賀
	11月15日～12月14日	企画展示 日本の楽器 音の文化史 朝日新聞社共催	並木
平成21年	1月4日～2月1日	企画展示 福を招く 吉祥のデザイン 日本経済新聞社共催	龍澤
	2月7日～4月5日	特別展 尾張徳川家の雛まつり 中日新聞社共催	四辻

(3) 特別展示

- ① 国宝 源氏物語絵巻 特別公開 橋姫・宿木三 平成20年11月22日～11月30日
- ② 千利休 泪の茶杓 平成21年 2月21日～3月1日

(4) 特別観覧

- ① 葵茶会 (3日間) 5月10日・11日・18日
- ② 徳川茶会 (7日間) 10月12日・13日・18日・19日・25日・26日、11月3日

(5) 蓬左文庫展示

展示室一 約1ヶ月ごとに展示替

4月9日～5月18日	特別展 桃山・江戸絵画の美	吉川
5月21日～7月21日	尾張の武道	小池
7月24日～9月28日	妖怪絵本 -もののけ・お化けの世界-	龍澤
10月1日～11月9日	特別展 室町将軍家の至宝を探る	山本・小池・志賀
11月12日～12月14日	大陸文化の薫り -清朝の美術工芸-	志賀
1月4日～2月15日	遊びながら学ぶ -江戸から明治の教育アイテム-	吉川
2月18日～4月5日	さくら 桜	四辻

※「源氏千年紀 源氏物語の世界」春・秋の特別展以外の期間

(6) 展示指導・協力・監修

10月17日～11月24日	広島県立歴史博物館 「徳川家の姫君一華麗なる世界」徳川美術館名品展
9月20日～10月19日	金沢能楽美術館 「尾張徳川家伝来の能面・能装束」

- [V] 編 集
- | | |
|--------------------------|-------------------|
| (1) 蔵品抄図録作成(桃山・江戸絵画の美) | 学芸部 |
| (2) 特別展図録作成(室町将軍家の至宝を探る) | 同 上 |
| (3) 金鯨叢書(第36輯) | 同 上 |
| (4) 尾陽(第6号) | 同 上 |
| (5) 徳川黎明会叢書 | 同 上 |
| (6) 源氏物語絵巻の科学的分析報告書 | 同上・東京文化財研究所・五島美術館 |
| (7) ビデオライブラリー作成 | 学芸部 |
- [VI] 徳川慶勝撮影写真資料の共同調査
- 学芸部
- [VII] 図 書
- | | |
|--------------|-----|
| (1) 受入、整理、管理 | 学芸部 |
|--------------|-----|
- [VIII] 館蔵品コンピューター入力
- | | |
|---------------------|-----|
| (1) キャプション作成 | 学芸部 |
| (2) 展示作品リスト(来館者用)作成 | 同 上 |
| (3) 調書入力 | 同 上 |
| (4) 写真データ入力 | 同 上 |
- [IX] 広報活動
- | | |
|----------------------|--|
| (1) 誘致活動 | |
| ①マスメディアへの周知 | |
| ②広告掲載(新聞・雑誌・看板など) | |
| ③インターネットの活用 | |
| (2) 他の美術館・博物館との連携 | |
| (3) 刊行物作成・配布 | |
| ①徳川美術館だより「葵」の発行(年4回) | |
| ②各種印刷物の作成 | |
| (4) ボランティア業務の運営 | |
| ①ボランティアの養成 | |
| ②展示解説の充実 | |
| ③体験型解説の実施 | |
| ④ボランティアの会見学会の実施 | |
| (5) 館外広告とサインの見直し | |

2. 処 務 事 項

[I] 販 売 促 進

(1) 来館者拡大（来館者数の状況把握と周知徹底）

①団体来館者の利用促進

- a) 旅行会社との連携強化
- b) ライオンズクラブ、ロータリークラブ、日本青年会議所、議員後援会、各種組合等へのアプローチ
- c) 企業の会議等の誘致

②個人来館者の利用促進

- a) 提携先（ホテル、教育委員会、他施設、等）の拡大
- b) 賛助会員（法人）の拡大
- c) 来館者ニーズの把握と反映
- d) 百貨店友の会との連携強化
- e) 名古屋城との広報連携強化
- f) 地域との連携（大曾根地区、白壁地区など）

(2) 大学メンバーシップの拡大と維持（目標：新規3校）

(3) 休館日及び閉館後の貸切利用（プライベートミュージアム）誘致

(4) 入館者への宝善亭の弁当の告知推進

(5) ミュージアムショップの充実

- ①各展覧会に則した商品陳列、企画の工夫
- ②HP掲載などによるミュージアムショップ及び商品のPR
- ③「源氏物語千年紀」会場などにおける外販

[II] 管 理

(1) 営繕（費用の削減及び支払時期の交渉）

①館内整備

- a) 屋上防水工事 (10,000,000円)
- b) 外壁・外部付属物修繕塗装工事 (10,000,000円)
- c) 正面入口・スロープ手摺り (1,000,000円)
- d) 正面玄関ドア開閉装置更新 (400,000円)
- e) 講堂内温度調節装置修繕 (400,000円)
- f) 山の茶屋床上げ工事 (10,000,000円)
- g) 真空遮断器取替と低圧切替盤内オーバーホール (2,400,000円)
- h) 自動火災報知機更新 (13,000,000円) (第3回徳川美術館拡充整備基金より支出)

②庭園整備 周辺民家に隣接する樹木の管理

C 建物・設備「短期計画(3ヶ年)」の立案と遂行

(2) 備品管理の推進

(3) 建物維持管理

設備保守の契約内容の見直し

[Ⅲ] 第17回徳川美術館運営懇話会の開催

[Ⅳ] 徳川美術館拡充整備基金の会 会員募集の推進

[Ⅴ] 徳川園調整会議、業務・企画会議への参加
徳川園、蓬左文庫、及び関係組織との協議

[Ⅵ] 「国宝重要文化財等保存整備費補助金」(国庫補助事業)及び「徳川美術館拡充整備基金」の使途

平成20年度は下記のように使途することを計画している。

- (1) 「国宝重要文化財等保存整備費補助金」(国庫補助事業)
〔文化財保存事業〕 重要文化財 扇地紙文辻ヶ花染小袖・紅葉文辻ヶ花染小袖
- (2) 「第2回 徳川美術館拡充整備基金」
〔文化財保存事業〕 徳川家康着用 浴衣 三領 復元(継続)
〔施設整備事業〕 ビデオライブラリー作成
- (3) 「第3回 徳川美術館拡充整備基金」
〔文化財保存事業〕 薄紅地蓬莱葵紋付産衣 徳川綱誠着用 修理
「直鋒」纏 松平忠吉所用 //
- 茶白鼠細格子産衣 徳川綱誠着用 //
- 扇散蒔絵鼓箱 (荻田蒔絵小鼓収納箱) //
- 楽器図衝立 //
- 〔施設整備事業〕 自動火災報知設備 更新

徳川林政史研究所

1. 事業事項

[I] 研究

(1) 継続

(課 題)

- ① 近世材木商の研究
- ② 江戸の園地政策
- ③ 江戸～明治期における林野行政と地域社会
- ④ 中山間地域社会の近代的展開
- ⑤ 上州山村にみる御巢鷹山と山林経営
- ⑥ 飛騨幕領における木材資源の枯渇と植林政策

(担 当)

- | | |
|-------------|------|
| 所 長 | 竹内 誠 |
| 副 所 長 | 深井雅海 |
| 主任研究員 | 太田尚宏 |
| 筑波大学教授 | 加藤衛弘 |
| 東京大学史料編纂所教授 | 佐藤孝之 |
| 非常勤研究生 | 高橋伸拓 |

(2) 新規

- ① 近世大名家における緑化政策の展開
- ② 秋田藩林政史
- ③ 徳川慶勝による藩邸植樹政策

- | | |
|--------------|------|
| 研 究 員 | 白根孝胤 |
| 秋田工業高等専門学校教授 | 脇野 博 |
| 非常勤研究生 | 藤田英昭 |

(3) 以上の課題研究に関する中間報告のため、研究会を開催する。

(4) 非常勤研究生11名を採用し、若手研究者の育成を図る。

[II] 編集・刊行

(1) 平成20年度「研究紀要」第43号（B5判 300ページ前後）を編集・刊行する。

白根孝胤・太田尚宏

[III] 史料調査

(1) 全国森林管理局所蔵史料調査

太田尚宏・白根孝胤

平成14年度より文部科学省の科学研究費補助金（特定奨励費）を受けて、統廃合により散逸の危機にある森林管理局所蔵史料の調査を行ってきた。この活動が端緒となり、森林管理局の所蔵史料は国立公文書館へ移管される運びとなった。林政史研究所としては可能な限り引き続き調査を行っていく予定であるが、今後の国立公文書館の収集事業の進展によっては、予定変更の場合もある。

- ① 九州森林管理局所蔵史料調査（熊本県・熊本市）
- ② 中部森林管理局所蔵史料調査（長野県・長野市）
- ③ 関東森林管理局所蔵史料調査（群馬県・前橋市）
- ④ 中部森林管理局所管森林管理署等所蔵史料調査（長野県・木曾福島町など）
- ⑤ 近畿・中国森林管理局所蔵史料調査（大阪府・大阪市）

(2) 全国森林管理史アーカイブズ調査

太田尚宏・白根孝胤

全国の森林管理史関係史料の所在調査をし、データベース化を行うとともに、必要に応じて複写史料の収集を行う。

(3) 民有林業関係史料調査

白根孝胤・太田尚宏

- ① 八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査（北海道・八雲町）

(4) 写真資料の共同調査・研究

白根孝胤・太田尚宏

徳川美術館と共同で、徳川慶勝撮影写真資料に関する基礎調査・研究を企画・実施する。

(5) 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集

- ① 金沢市立玉川図書館所蔵史料調査（石川県・金沢市）
- ② 彦根城博物館所蔵史料調査（滋賀県・彦根市）
- ③ 奈良県立図書情報館所蔵史料調査（奈良県・奈良市）
- ④ 岐阜県歴史資料館所蔵史料調査（岐阜県・岐阜市）

[IV] 所蔵史料の整理

(1) 日常業務において実施する史料整理・点検

- ① 徳川林政史研究所収集史料の整理・目録作成作業を行う。 太田尚宏
- ② 尾張徳川家文書の新目録作成・点検作業を行う。 白根孝胤
- ③ 徳川林政史研究所収集絵図の整理・目録作成作業を行う。 太田尚宏・研究生
- ④ 蜂須賀家文書の整理・目録作成作業を行う。 //
- ⑤ 「竹熊手」の目録作成作業を行う。 竹内 誠・太田尚宏
- ⑥ 史料の補修や装備、書庫内の整理など、史料および保存環境の保全につとめる。 深井雅海・太田尚宏・白根孝胤
- ⑦ 所蔵古写真のデジタル化を進める。 白根孝胤

(2) 研究生による史料整理

白根孝胤・太田尚宏

- ① 研究員の立ち会いによる指導・助言のもと、石河家文書の整理・目録作成作業を行う。

(3) 愛知県史との共同史料整理

太田尚宏

- ① 蟹江鈴木家文書の整理を継続する。

[V] 所蔵史料の目録刊行

- (1) 尾張徳川家文書に関する内容調査・補充整理を進め、「研究紀要」第43号に「尾張徳川家文書目録 (5)」を掲載する。 白根孝胤
- (2) 研究生による史料整理の成果として、「研究紀要」第43号に「石河家文書目録 (4)」を掲載する。 白根孝胤・太田尚宏
- (3) 徳川林政史研究所収集史料に関する内容調査・補充整理を進め、「研究紀要」第43号に「徳川林政史研究所収集史料目録 (1)」を掲載する。 太田尚宏
- (4) 「竹熊手」の史料目録を、「研究紀要」第43号に掲載する。 //

[VI] 教育・普及

所長・副所長・研究員

- (1) 前年度に引き続き、豊島区教育委員会との共催で、一般向けの古文書解読講座「徳川林政史研究所公開講座」を開催する。
- (2) 徳川美術館主催の「徳川林政史研究所 古文書入門講座」に講師として参加する。
- (3) 平成17年度に実施した第7回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた書籍を刊行する。
- (4) 平成18年度に実施した第8回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた書籍を編纂する。

(5) 部外出講

① 昭和女子大学	日本近世史特論	通 年	太田尚宏
② 〃 大学院	歴史文化研究 I B	〃	〃
③ 慶應義塾大学	歴史 I	前 期	白根孝胤
④ 〃	歴史 II	後 期	〃

[VII] 所蔵史料データベースの構築および保存

- (1) 目録刊行作業に合わせて徳川林政史研究所収集史料に関する目録データの修正・補充を行う。太田尚宏
- (2) 目録刊行作業に合わせて尾張徳川家文書に関する目録データの修正・補充を行う。白根孝胤
- (3) 石河家文書の目録データ入力を実施する。〃
- (4) 徳川林政史研究所収集絵図の目録データ入力を実施する。太田尚宏
- (5) 蜂須賀家文書の目録データ入力を実施する。〃
- (6) 「竹熊手」の目録データ入力を実施する。〃
- (7) 目録刊行済みの史料群のうちでデータ化が進んでいないものについて、パソコン入力を進める。太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織
- (8) 所蔵史料に関する目録データの拡充につとめ、検索方法や活用のあり方を引き続き検討していく。太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織
- (9) ホームページ等を利用した目録データ公開体制のあり方について検討していく。太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織

[VIII] 所蔵図書の整理

係長 鶴岡香織

(1) 図 書

- ① 新着図書・旧受入分、及び寄贈図書の分類・整理・データ入力を行う。
- ② 冊子・ソフトカバーの目録等について製本し、貴重本の散逸を防ぐ。
- ③ 寄贈依頼を発送し、蔵書の充実に努める。
- ④ 除籍対象図書を選定し、除籍を行う。

(2) 雑 誌

- ① 新着雑誌・寄贈雑誌の整理・データ入力を行う。
- ② 製本することによって雑誌の散逸を防ぎ、それと共に欠号の補完を行う。
- ③ 「研究紀要」の交換先を検討する。
- ④ 所蔵雑誌の収蔵範囲について検討する。
- ⑤ 除籍対象雑誌を選定し、除籍を行う。

(3) 抜 刷

- ① 各種抜刷を分類・整理・データ入力を行う。

(4) 図書データベースのネットワーク化に向けて作業する。

[IX] 閲覧・複写・出陳・レファレンス業務

- (1) 毎週火曜日・水曜日を閲覧許可日とし、所蔵史料を閲覧に供する。
- (2) 閲覧対象とする史料群は
 - ① 旧蓬左文庫所蔵史料
 - ② 尾張徳川家文書
 - ③ 八雲史料
 - ④ 林政史研究所収集史料
 - ⑤ 旧名古屋税務監督局所蔵史料（旧愛知県庁文書を含む）

- ⑥写真資料
 - ⑦絵図類
 - ⑧日本林制史調査資料
 - ⑨その他
- とする。

- (3) 所蔵史料の複写サービスに際し、総務部と協力して史料出納や撮影補助などに従事し、業務の円滑化を図る。 太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織
- (4) 他館からの史料出陳申請に対しては、可能な限り協力していく。 太田尚宏
- (5) 電話や書簡によるレファレンスについて、適切な内容のものであれば可能な限りこれに協力する。 太田尚宏・白根孝胤

2. 処 務 事 項

[I] 外 部 関 係

(1) 文部科学省

下記の文書を会長名を以って文部科学大臣に提出の予定 太田尚宏・鶴岡香織

- | | | | | |
|---------|-----------------|-----------------------|-------|-----|
| ①平成19年度 | 科学研究費補助金（特定奨励費） | 実績報告書 | 平成20年 | 4月 |
| ②平成20年度 | 科学研究費補助金（特定奨励費） | 交付申請書 | 平成20年 | 4月 |
| ③ | 〃 | 補助事業実施状況報告書（第1-四半期） | 〃 | 7月 |
| ④ | 〃 | 〃（第2-四半期） | 〃 | 10月 |
| ⑤平成21年度 | 〃 | 事業計画調書 | 〃 | 11月 |
| ⑥平成20年度 | 〃 | 〃 補助事業実施状況報告書（第3-四半期） | 21年 | 1月 |

(2) 科学研究費補助金

科学研究費補助金に係る申請事務及び経費管理事務 鶴岡香織

(3) その他の外部補助金

上記の他の外部補助金に係る申請事務及び経費管理事務 白根孝胤・鶴岡香織

[II] 寄付金関係

財団法人徳川黎明会徳川美術館拡充整備基金の会 会員募集の推進
 特定公益増進法人として平成19年2月9日に通算9回目の認定を受けた。
 総務部と徳川美術館に協力して、目標額の達成のためあらゆる努力を払う。

[III] 他機関との連携・協力

- (1) 蓬左文庫
- (2) 徳川記念財団・犬山城白帝文庫
- (3) 国文学研究資料館・国立公文書館等の資料保存機関及び学協会

[IV] 備品購入

ノートパソコン 1台 を購入予定。